

ももとせ

第417号

29年度5月

中野区立桃園小学校

「挨拶があふれ 伝統ある桃園小学校」 副校長 井上 江見子

4月21日。朝、通勤していると、ツツジの開花に気付きました。例年、ゴールデンウィークに満開になります。新緑のまぶしい季節の訪れです。

私は、この度、副校長に着任いたしました井上 江見子と申します。子供たちの挨拶があふれる素敵な学校に着任できたことを大変幸せに感じております。明治8年開校の伝統ある桃園小学校の伝統を引き継いでいくことへの重責も感じております。可愛い子供たち、教職員とともに、校風を継承し、桃園小学校を誇りに思えるような学校づくりに努めてまいります。

4月には、さまざまな行事を通して、子供たちの頑張りが見られました。真剣な表情で入学式を支えた6年生。音量あるきれいな歌声は、周囲の保護者が振り返るほどでした。6年生代表児童の堂々とした挨拶からは、最高学年として桃園小学校の伝統を守っていくという頼もしさと、1年生を優しく包む思いやりの心を感じました。1年生の朝のお世話をする姿。1年生を迎える会での1年生と一緒に入退場する姿。優しい表情の6年生でした。

遠足では、2年生が上級生として下級生をリードしていたという報告がありました。一つ上の学年に進級し、新たな役割の中、新たな目標をもって、活動しています。

まさに、本校の教育目標の一つ「思いやりのある子」に繋がる活動です。この教育目標を実現するために「異学年や特別支援学級との交流を図り、人間関係を豊かにし、他を思いやる心と社会性の育成」に努めています。

さて、新しい学年や学級での活動、生活にも慣れ、穏やかなスタートが切れていることを嬉しく思います。

本校の朝は、ブラスバンド部の元気な挨拶から始まります。職員室の席に座っていると、「おはようございます」と廊下から元気な声が響きます。きちんと職員室の中を見て挨拶ができます。どの子も通る度に挨拶をします。何も言わずに通り過ぎてしまった子供たちに「挨拶は？」と言うと、わざわざ戻って挨拶をしました。私は、毎日気持ちのよい朝を迎えられています。

朝だけではありません。廊下ですれ違った時に「こんにちは」と挨拶できる子供がいます。職員室に用事がある時「〇年〇組〇〇〇〇です」と言って、何の用事で来たのかをはっきりと言える子供が多いです。

桃園小学校を訪れる地域・保護者の皆様は、本校の教育活動を支えてくださっています。子供たちも、安全を見守り、学習や生活を支えてくださる人々だという思いをもち、挨拶のあふれる学校であり続けたいと思います。温かなご支援をお願いいたします。

【引き取りによる下校】

児童が在校時に大規模地震（震度5強以上）が発生した場合、校舎に甚大な被害がなく、児童の安全が確保される場合、校舎または校庭において保護者等の引き取りを待ちます。保護者による引き取りが困難な場合、予め届けのある第三者による引き渡しを行います。
※5月13日(土)の引き渡し訓練にご参加をお願いします。事前に学校配信システムのテスト配信をします。

＜災害伝言ダイヤル＞

避難状況等の情報は「災害伝言ダイヤル」等を利用して伝え、電話による問い合わせは、ご連絡ください。

今月のめあて

【生活】 時間を守ろう

【保健】 体を清潔にしよう

【給食】 準備や片付けをきちんとしよう

【安全】 正しく遊具を使おう

